

鹿児島県は
「あなた」を
まっけてます

鹿児島県職員
(林業職)
の案内



問い合わせ先
鹿児島県 環境林務部 環境林務課
電 話 099-286-3327
F A X 099-286-5544
メールアドレス kk-soumu@pref.kagoshima.lg.jp

まずは、森林の機能についておさらい

【期待される森林の機能】

◆森林の有する多面的機能

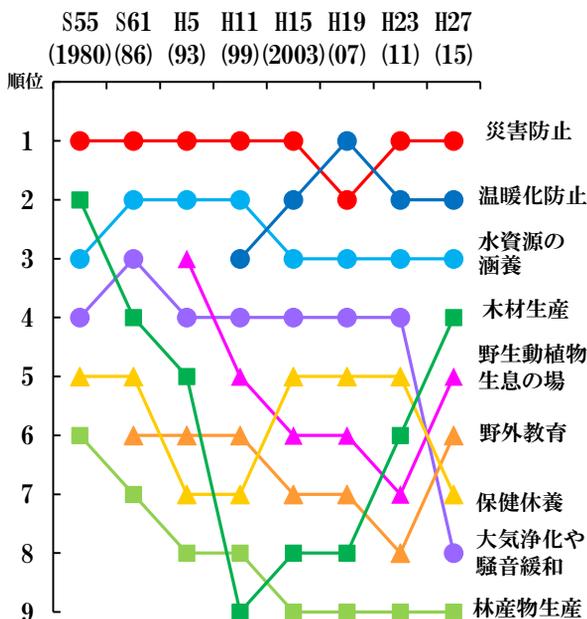
森林の多面的機能は、一部の貨幣評価できるものだけでも年間70兆円

<ul style="list-style-type: none"> ○ 土砂災害防止/土壌保全 <ul style="list-style-type: none"> ・表面侵食防止【2兆2,565億円】 ・表層崩壊防止【8兆4,421億円】等 ○ 保健・レクリエーション <ul style="list-style-type: none"> ・保養【2兆2,546億円】 ・行楽、スポーツ、療養 ○ 物質生産 <ul style="list-style-type: none"> ・木材（建築材、燃料材等） ・食料（きのこ、山菜等）等 ○ 快適環境形成 <ul style="list-style-type: none"> ・気候緩和 ・大気浄化 ・快適生活環境形成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水源涵養 <ul style="list-style-type: none"> ・洪水緩和【6兆4,686億円】 ・水資源貯留【8兆7,407億円】 ・水質浄化【14兆6,361億円】等 ○ 地球環境保全 <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素吸収【1兆2,391億円】 ・化石燃料代替エネルギー【2,261億円】 ・地球の気候の安定 ○ 生物多様性保全 <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子保全 ・生物種保全 ・生態系保全 ○ 文化 <ul style="list-style-type: none"> ・景観・風致・宗教・祭礼 ・学習・教育・伝統文化 ・芸術・地域の多様性維持
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆日本の温室効果ガス削減目標

国際ルール 我が国の目標等	第2約束期間 2013年～2020年	パリ協定 2021年～2030年
温室効果ガス削減目標値	2020年度 3.8% (2005年度比)	2030年度 26.0% (2013年度比)
うち森林吸収量の目標値	2020年度 2.7% (2005年度比) 【約3,800万t-CO ₂ 以上】	2030年度 2.0% (2013年度比) 【約2,782万t-CO ₂ 】

◆森林に期待する機能



資料：総理府「森林・林業に関する世論調査」（昭和55年）、「みどりと木に関する世論調査」（昭和61年）、「森林とみどりに関する世論調査」（平成5年）、「森林と生活に関する世論調査」（平成11年）、内閣府「森林と生活に関する世論調査」（平成15年、平成19年、平成23年）、農林水産省「森林資源の循環利用に関する意識・意向調査」（平成27年）
注1：回答は、選択肢の中から3つまでを選ぶ複数回答。
注2：選択肢は、特にない、わからない、その他を除いて記載。

【森林の機能を発揮させるために…】

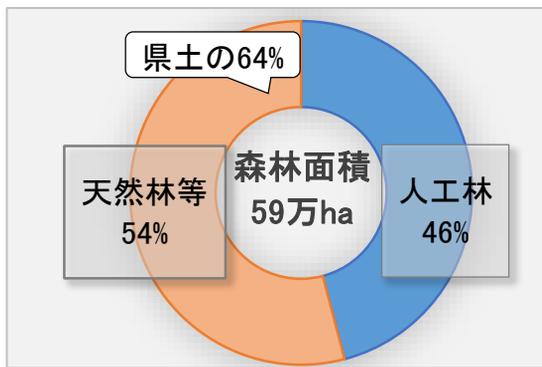


植える→育てる→使う→植える
森林資源の循環利用が不可欠

○再造林の取組状況について

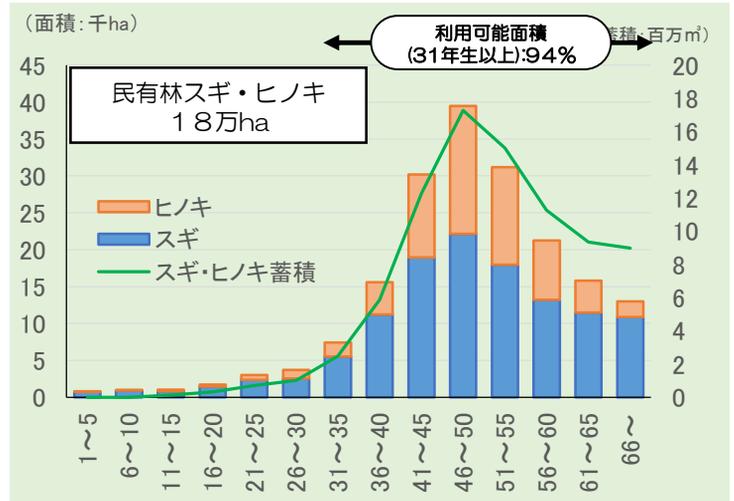
1 再造林を取り巻く状況

(1) 森林資源



- 森林が県土の約6割
- 森林面積は九州1位
- スギ・ヒノキの人工林は、利用可能な資源として着実に充実

森林面積	59万 ^{ha}	全国12位	九州1位
うち人工林	27万 ^{ha}	全国11位	九州3位



資料：県森林・林業統計

(2) 木材生産

- 大型木材加工施設や木質バイオマス発電施設の稼働、輸出等の需要増により生産量が増加
- これに伴い、皆伐面積も増加傾向

- 令和10年度の目標
 - 生産額：150億円
 - 生産量：150万^{m³}
 (県森林・林業振興基本計画)



資料：かごしま材振興課

(3) 木材価格

- 近年は、価格が最も高かった昭和55年の3割程度と、依然として低迷



資料：県森林・林業統計

(4) 林業労働力

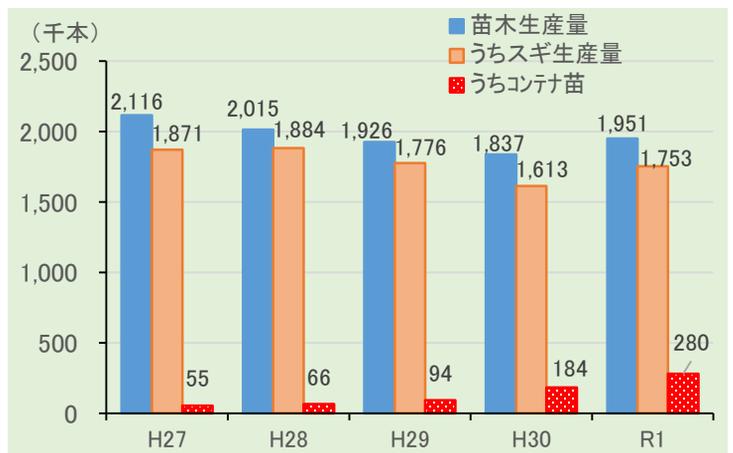
- 近年の林業就業者数は緩やかな減少傾向
- 造林・保育作業を主に担う森林組合の造林作業班員は大幅に減少するなど，再造林の担い手の確保・育成を図る必要



資料：森林経営課

(5) 苗木生産量

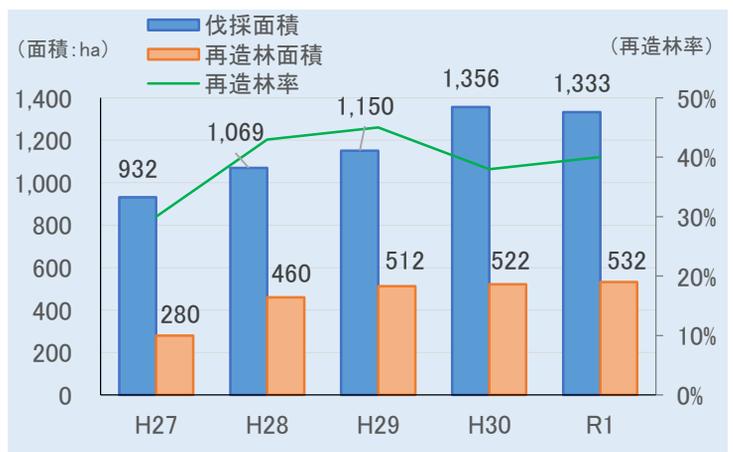
- 近年の苗木生産量は概ね横ばい
- コンテナ苗生産量は増加
- 再造林に必要な苗木の，更なる生産拡大に取り組む必要



資料：森林経営課

2 再造林の実施状況

- 人工林の伐採面積が増加している一方で，再造林率は4割程度にとどまっている状況



資料：森林経営課

「木材生産機能の維持」や「森林の有する公益的機能の発揮」を図っていくためには，再造林が不可欠

3 再造林推進の主な取組

ア 造林・保育コストの低減

伐採、地拵え、植栽の一貫作業による作業効率の向上



(伐採時に使用する高性能林業機械による同時地拵え)

造林・下刈り作業の省力化の推進



(低密度植栽)



(下刈り作業の省力化に関する検討会)

イ 造林・保育に必要な労働力の確保・育成

林業就業者の新規参入の促進



(新規就業希望者の研修状況)

現場技能者の技術力向上



(コンテナ苗の植栽作業)

イ 造林・保育に必要な労働力の確保・育成

コンテナ苗を利用した造林作業の通年化



(スギのコンテナ苗の利用)

林業事業者間の連携促進



(伐採事業者による植栽作業(地拵え))

ウ 優良苗木の安定供給体制づくり

優良苗木の生産拡大に向けた採穂園整備



(優良品種の採穂園)

コンテナ苗の生産拡大



(コンテナ苗の生産施設整備)

苗木生産者の確保及び生産技術の習得促進



(苗木生産実践講座)

苗木の需給調整の機能強化



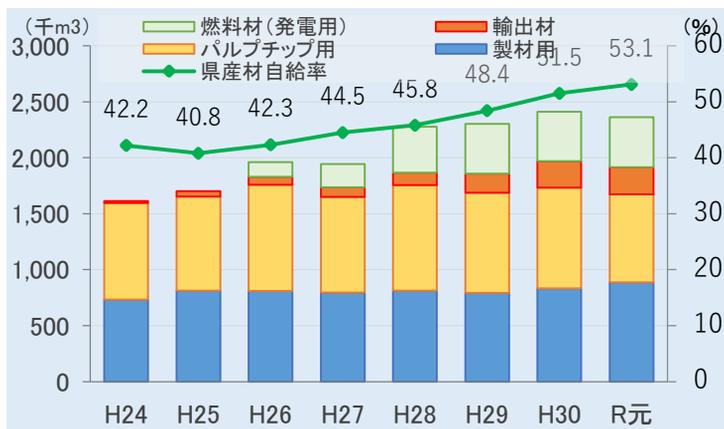
(林業用種苗需給連絡協議会)

○ かがしま材の利用拡大の取組について

4 森林・林業を取り巻く状況（木材利用）

（1）県内の木材需要の推移

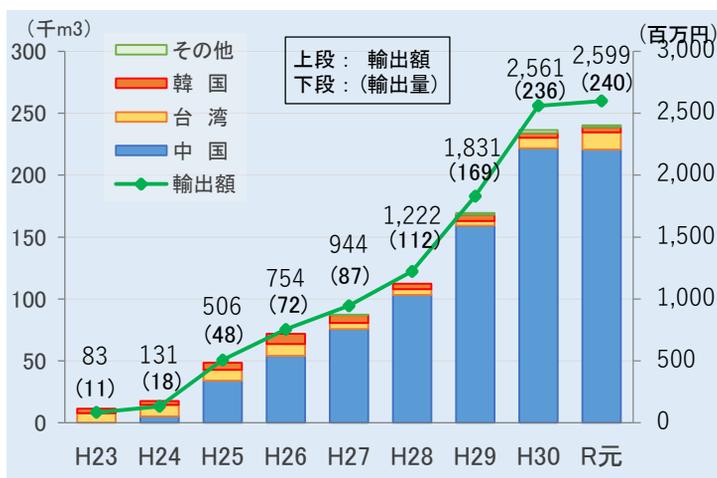
- 令和元年度の木材需要量は238万³mで前年度比2%減
- 令和元年度の県産材の自給率は53.1%で前年度の1.6%増



資料：県森林・林業統計

（2）木材輸出の推移

- 東アジア，特に中国の旺盛な需要により増加
- 令和元年度の輸出額は約26億円で過去最高
- 感染症拡大等の影響による落ち込みが懸念されたが令和2年度も好調の見込み



資料：かがしま材振興課

（3）県内の住宅着工の推移

- 1万戸前後で推移していたものの，平成28年以降はやや減少傾向
- 木造率は約7割で推移
- 感染症拡大等の影響による新築の落ち込みを懸念



資料：かがしま材振興課

利用拡大を図るには...

- 1 県民への理解の醸成
- 2 かがしま材を利用した家づくりの推進
- 3 公共建築物等への利用促進
- 4 かがしま材の輸出促進
- 5 新たな需要に向けた取組

5 利用拡大の取組

(1) 県民への理解の醸成

① イベントを通じたPR



(かごしま木材まつり木構造展での展示)

② 木育の実施



(木育インストラクターの活動)

③ 県産材を活用した新たな木製品の開発



(学生等が開発した木製ベンチなど)

新聞記事 (R3. 2. 12 : 南日本)



(開発した木製品の展示・PR)

(2) かごしま材を利用した家づくりの推進

① 「かごしま緑の工務店」の加入促進



(登録制度等の説明のためのセミナー開催)

② 「かごしま木の家」づくりの活動支援



(「かごしま緑の工務店」による構造見学会)

③ かがしま材を使用した新築住宅の支援



(「かがしま緑の工務店」による住宅建築)

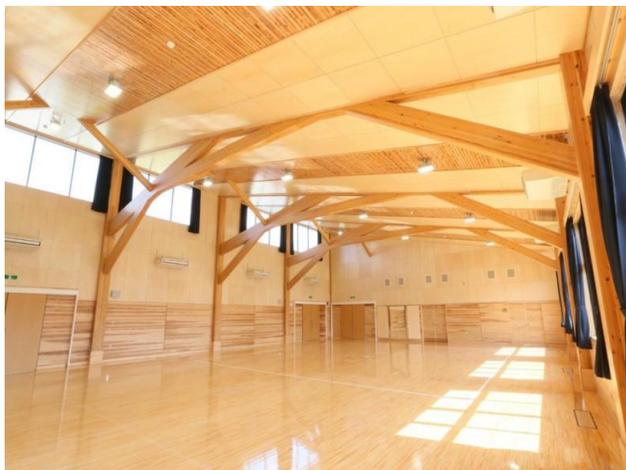
④ 「新しい生活様式」に対応した住居や民間施設の増改築等の支援



(かがしま材を使ったりリモート執務室の増改築)

(3) 公共建築物等への利用促進

① 公共施設での木造化・木質化



(鹿屋女子校多目的ホール棟 (鹿屋市))

② 民間施設での木造化・木質化



(七呂建設ショールーム (鹿児島市))

(4) かがしま材の輸出促進

① 海外での県産材PR活動の支援



(台湾の国際建材展への出展)

② 県産製材品のトライアル輸出の支援



(台湾への県産CLTの輸出)

(5) 新たな需要に向けた取組

① 非住宅建築物への木材の利用促進



(2×4工法, 家具店工場 (鹿児島市))

② CLT等の供給体制の整備



(CLT等加工施設 (湧水町))

③ 木質バイオマス発電等への利用促進 <木質バイオマス発電への利用>



(チップ製造施設 (南九州市))



(木質バイオマス発電施設 (枕崎市))

<畜産用敷料への利用>



(おが粉製造施設 (曾於市))



(敷料設置状況 (曾於市))

森林土木事業の業務について

(治山事業)

(林道事業)



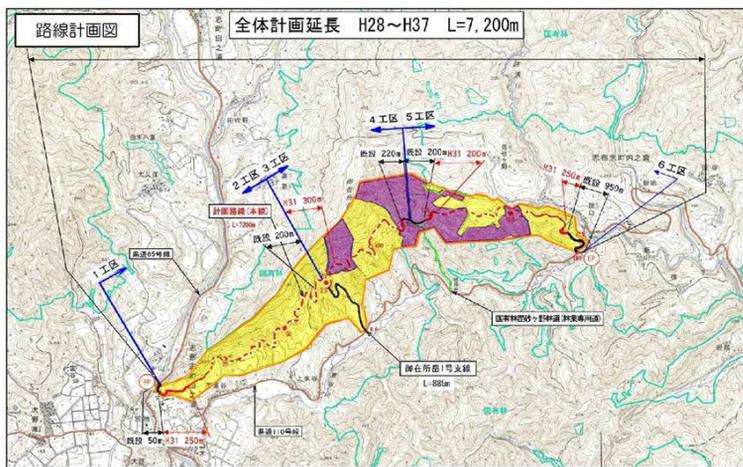
① 森林土木事業の計画業務

② 森林土木工事に係る測量設計業務

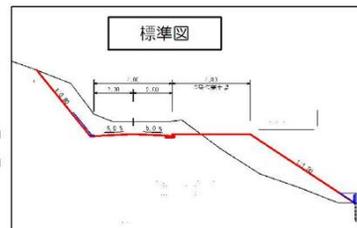
③ 森林土木工事の発注・現場指導

① 森林土木事業の計画業務 について

地方創生道整備推進交付金 鹿児島県 志布志市 志布志町 御在所岳線



- 路線名 : 御在所岳線 (鹿児島県志布志市志布志町田之浦地区ほか)
- 事業主体 : 鹿児島県
- 自動車道区分 : 自動車道2級 (全幅員4.0m、車道幅員3.0m)
- 事業計画期間 : 平成28年度~平成37年度
- 総事業費・総延長 : 1,627,000千円 (国費 813,500千円) 総延長 7,200m
- 31当初事業費・延長 : 200,000千円 (国費 115,000千円) 開設 1,000m
- 利用区域内面積 : 利用区域238ha (人工林145ha, 天然林等93ha)
- 利用区域内蓄積 : 48,565m³ (人工林 37,573m³, 天然林等 10,992m³)
- 主な原木の供給先 : 曾於地区森林組合木材共販所 (約23km), 志布志港 (約14km) ※海外輸出用
- 開設効果指数 : 2.89



③森林土木工事の発注・現場指導について

施工中の現場指導



安全対策



巡回誘導員

防災林造成

海岸における飛砂・潮害（津波、高潮、塩害）・風害・霧害の防備、土砂の流出や崩壊の防備、雪崩の危険の防止などのための森林を造成します。



林道事業について

路網の役割

まもる

森林の多面的機能の持続的発揮

- 適切な森林整備の推進
- 保健休養機能等の発揮



適切な森林の整備に不可欠な路網



人と森林とのふれあいの架け橋となる路網



路網の開設が進む複層林施業

はこぶ

林業・林産業の振興

- 林業生産の増大
- 林業生産性の向上
- 林業就労条件の改善



高性能林業機械の導入に不可欠な路網



路網上で行われる木材の積込作業



路網を活用した木材運搬

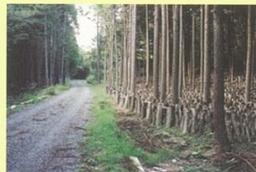
むすぶ

山村の活性化

- 地域交通の改善
- 地域産業の振興



山村と都市を結ぶ林道



林道沿線で行われるシイタケ生産

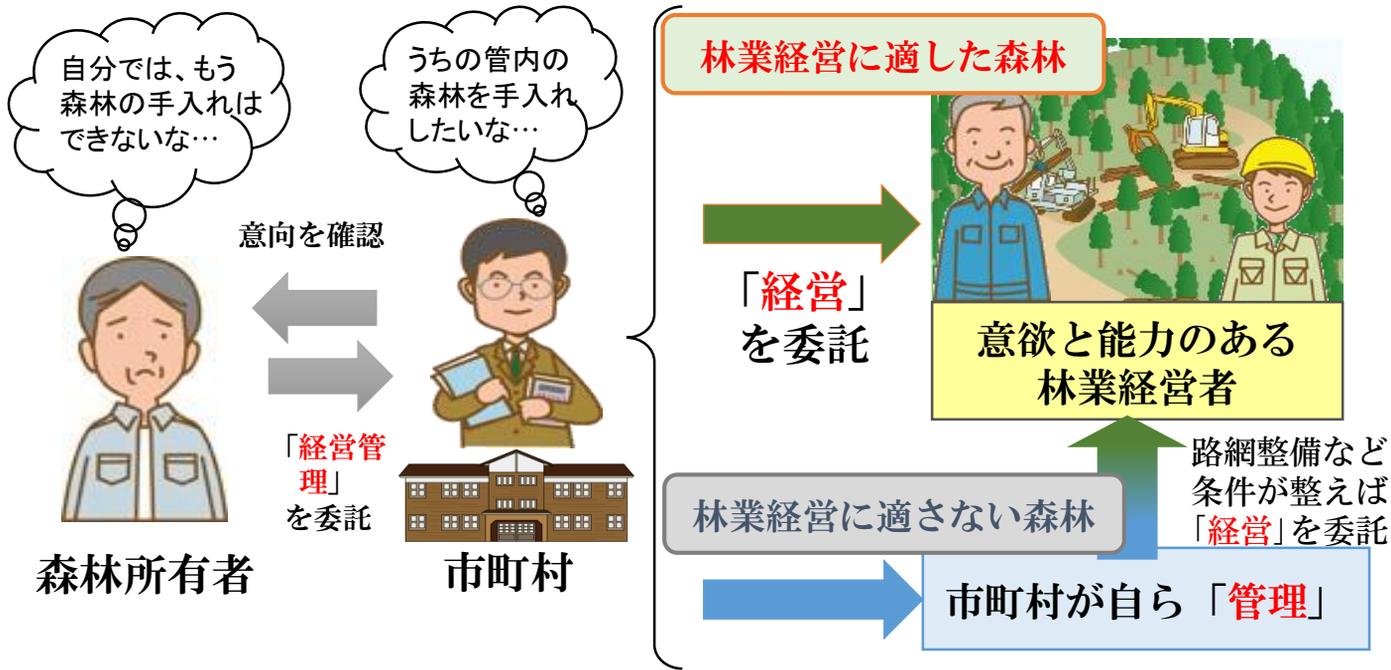


山村生活に密着した林道

○ その他の主な重点施策について

6 主な重点施策

(1) 森林経営管理制度



経営管理が行われていない森林について、**市町村が仲介役となり**
森林所有者と林業経営者を繋ぐシステムを構築

制度により期待される効果

市町村 (地域全体)

- ・ 間伐手遅れ林の解消や伐採後の再造林が促進され、土砂災害等の発生リスクが低減し、地域住民の安全・安心に寄与。
- ・ 林業経営が可能であるにもかかわらず、経営管理されずに放置されていた森林が経済ベースで活用され、地域経済の活性化に寄与。
- ・ 新たに森林整備に携わる人が増え、定住人口の増加が期待されるほか、森林(木材)を活用した新たなビジネスチャンスを創出。

森林所有者

- ・ 市町村が介在してくれることにより、長期的に安心して所有森林を委託できる。
- ・ 意欲と能力のある林業経営者が、所有森林の経営管理を行うことにより、所有森林からの収益の確保が期待できる。

地域の 林業経営者

- ・ 多数の所有者と長期かつ一括した契約が可能となり、経営規模や雇用の安定・拡大につながる。
- ・ これまで手がつけられなかった所有者不明森林も整備が出来るようになり、間伐等の施業や路網の整備が効率的に実施できる。

(2) 林業イノベーション (これからの林業)

伐採・搬出

重量物を扱う作業工程は無人化等により労働災害を根絶へ

森林への立入調査 フェンダーによる伐採 人による丸太の荷掛 人の運転による運材 人による生産管理



現状

- ✓ 森林調査は、人手と時間を要し、生産管理も人の経験頼りであり、情報やデータが活用されていない
- ✓ 現場作業には、チェーンソーによる伐倒や重い丸太をワイヤで括る危険な作業が依然として存在し、きつい・危険・高コストの3K林業から脱却できていない

造林

人力による苗木運搬、植栽 人力による下刈り



現状

- ✓ 造林は機械化が進んでおらず、特に夏期の下刈りは過酷な人力作業
- ✓ 造林～伐採に50年以上を要し、再生林には人手も経費も要するため、投資意欲が失われている

調査
伐採
集材
運材
地拵・植栽
下刈

将来

●レーザ計測によるデジタルデータの取得

- 自動伐倒作業車 GPSや計測データと連携
- 自動集材機 AIにより丸太を自動判別
- 自動走行フォワーダ AIにより荷積み・運材・荷下しを無人・自動で!



●コンテナ苗を用いた伐採と造林の一貫作業システムの普及

- 林業用アシストスーツ
- 下刈作業の自動化 成長の早い苗木で回数も減



●森林GIS・クラウド ●ICTによる生産管理

様々なデータを収集・分析・活用

リモートセンシング技術や座標データを活用した造林 成長の良い樹種の活用



●: 実用化 ●: 開発中

スマート林業等の導入により林業収益性が飛躍的に向上し、川下のニーズに応え安定的な原木供給を行う林業経営を実現

(3) 持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献する森林・林業施策

- 2015年の国連持続可能な開発サミットにて「持続可能な開発目標 (SDGs)」(17の目標)が採択。
- 政府は「SDGs実施指針」(2016年)を策定し、ここで定めた8分野を「SDGsアクションプラン2019」で具体化。
- 森林・林業分野は、「SDGs実施方針」に定める8分野のうち、4分野の施策に該当し、
- 「林業の成長産業化」や「森林の多面的機能の発揮」等により、目標15「陸の豊かさを守ろう」を中心に、14の目標の達成に貢献。

SDGs: Sustainable Development Goals

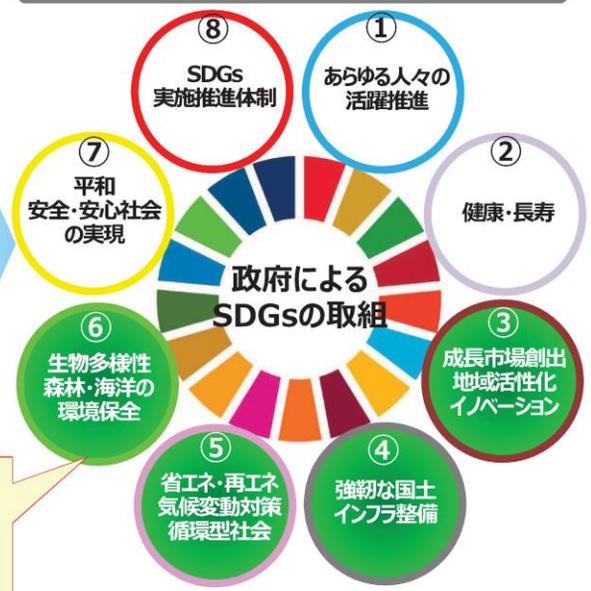
持続可能な開発目標(SDGs 17の目標)



★林野関連施策による貢献

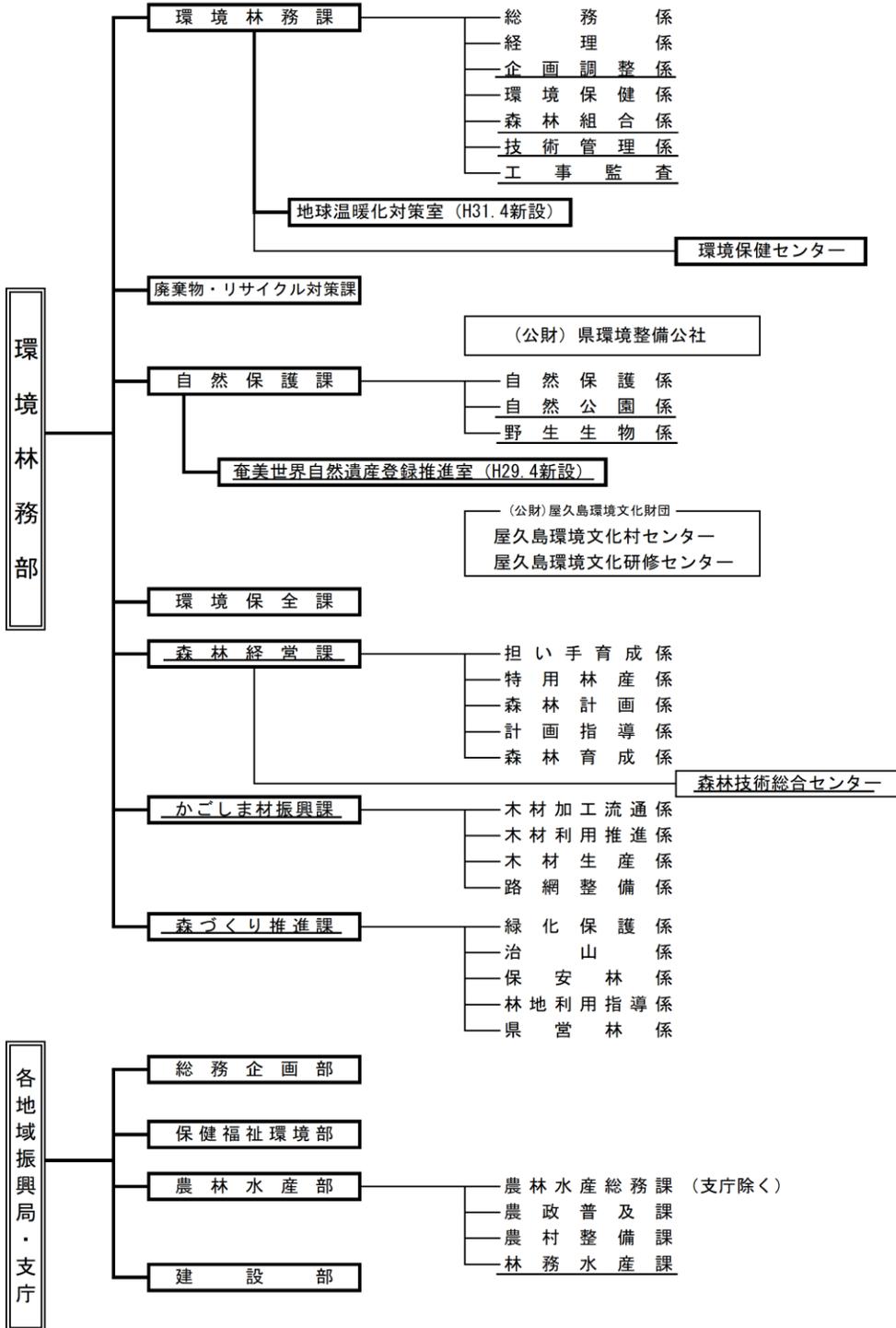
森林・林業分野は、SDGs「17の目標」を達成するための「SDGs実施方針」に定める8分野のうち、4分野について具体的な施策を展開。

政府「SDGs実施方針」に定める8分野



林業職配置先

令和2年4月1日現在



※ 下線所属に主に林業職配置されています。
 この他、林野庁等国の機関への交流も実施しています。

林業職員の紹介

かごしま材振興課木材生産係
中島 万穂
平成30年度採用（鹿児島大学卒）



Q1 鹿児島県庁を希望した理由は

大学で森林・林業を専攻し、林業に興味を持ったことがきっかけで、鹿児島県庁の林業職を志望しました。

また、県のインターンシップに参加した時、林業職の方と話をする機会もあり、より志望する気持ちが強くなりました。

Q2 入庁してからの鹿児島県の魅力は

本庁勤務は、事業執行の管理など室内での業務がメインですが、現地調査として各地域振興局・支庁が管轄する現場の山林に行くことがあります。

鹿児島県は離島地域もありますので、多様な自然を感じることができるのも大きな魅力です。

また、技術系に限らず、様々な研修もありますので、自己の成長につながると思います。

Q3 受験者に対するメッセージ

県職員を志望されている方、興味のある方は、県主催のガイダンスやインターンシップにぜひ参加されてみてください。

森づくり推進課保安林係
吉元 弘祐
令和2年度採用（鹿児島大学卒）



Q1 鹿児島県庁を希望した理由は

生まれてから現在に至るまで鹿児島県で過ごし、これまでの人生を鹿児島県と共に歩んできたこともあり、地元をよりよくするのに貢献したいという思いから鹿児島県庁を希望しました。鹿児島県は離島も多く、まだまだ知らない魅力が詰まった県だと思います。これからの社会人生活は長いので、仕事を通じてそういった魅力を探したり、再発見していきたいと考えています。

また、鹿児島県には世界自然遺産にも登録されている屋久島があります。自然の豊かさや壮大さを国内外に発信して、少しでも多くの人が鹿児島県の多種多様な森林に注目してもらえるような森づくりを目指したくて希望しました。

Q2 入庁してからの鹿児島県の魅力は

鹿児島県庁の魅力は、県が抱えるどんなに複雑で難しい課題でも組織一体となって解決に導くことができる点にあると思います。様々な意見を出し合って課題解決に結びついたときは達成感を味わえるだけでなく、違う職種の方々との交流を通じて自分の知らなかった鹿児島県の良さに気づかされたりします。この経験ができるのは県庁ならではの特権だと思います。

また、職場ではサポート体制も整えられており、明るく楽しい雰囲気が広がっているので、新しく配属される職員も安心して働ける職場環境だと思います。

Q3 受験者に対するメッセージ

新型コロナウイルスの影響などもあり、これまで受験されてきた方々よりも就職や仕事に対する不安が大きいのと思いますが、県職員の方々はどんなに些細なことであっても親身になって悩みや相談にのってくれます。また、森林や林業にあまり詳しくなくても、林業職は現場に出ることが多い職種でもあるので、体を動かしながら楽しく学ぶことができます。

鹿児島県の豊かな自然と直接的に触れあえる職場で、日本が誇れる鹿児島県の森林・林業をこれから築き上げていきませんか？一緒に働く日が来ることを心からお待ちしています。

林業職員の紹介

森林経営課森林計画係
七夕 大輝
令和元年度採用（鹿児島大学卒）



Q1 鹿児島県庁を希望した理由は

豊かな自然を有する地元鹿児島で、大学で学んだ森林・林業の知識を生かして貢献したいと考えたときに、林業技師の木を植えてから収穫を行い、また木を植えるまでのサイクルの全てに携われるところに魅力を感じ、この職種を希望しました。

Q3 受験者に対するメッセージ

鹿児島県は南北600キロともいわれる広さがあり、多種多様な自然や文化等が存在しています。そうした環境の中で、自然に関わる仕事ができるというのは、他では経験できない貴重な経験になると思います。ぜひ、学校で学んだ知識を生かして一緒に鹿児島県の林業発展のために働いてみませんか？

Q2 入庁してからの鹿児島県の魅力は

森林には木材や食べ物の生産、土砂災害の防止など様々な機能があります。更に、鹿児島県の森林は、ほとんどが森林資源としての利用期を迎えています。しかし、それらを健全な状態で次の世代の人たちへ受け継いでいくためには、山をそのまま放置するのではなく、どんどん資源として活用していく必要がありますが、本県の林業は担い手不足や更なる木材の需要拡大など様々な課題があるのが現状です。それらの課題はすぐに解決できるようなものではありませんが、市町村や事業者などの林業関係者と協力しながら鹿児島県の林業をより良い方向に進めていくことができるというところに魅力を感じています。

また、生活面においては基本的に週末が休みになるので、趣味に充てる時間や友人と遊ぶ時間を確保することができます。私は県庁のソフトボールチームに参加しており、日頃のストレス発散や他部署の人たちとの交流を楽しんでいます。このようにして、仕事と生活の両方のバランスのとれた生活を送れるのも魅力です。

環境林務課技術管理係
菊永 瑛華
平成28年度採用（鹿児島大学卒）



Q1 鹿児島県庁を希望した理由は

大学で学んだ知識を活かして、地元である鹿児島に貢献がしたいとの思いがありました。林業関係の仕事の中でも県庁の仕事では、鹿児島県の林業の幅広い分野で携われると思い志望しました。

Q2 入庁してからの鹿児島県の魅力は

私は、現場での業務と、鹿児島県全体に関わる業務のどちらにも携われることが魅力だと思います。

入庁するまでは、事務仕事が多く、あまり現場に赴いて業務をすることは少ないイメージでしたが、実際はイメージと異なり、現場での業務も多くあることに驚きました。

私は、初任地が出先機関で、森林土木に関する業務を担当しました。そこでは、治山ダム等の施工現場で、工事の施工業者の方への指導を行ったり、次年度に事業を実施する箇所の測量等を行ったりと、現場での業務も多々ありました。百聞は一見に如かずと言いますが、やはり実際の現場を見ての業務はとて勉強になりました。

現在は本庁で、県内全域の森林土木事業に関わる仕事を行っています。県内全域で適切な設計積算ができるよう基準等の整備を担当していますが、出先機関での経験を活かしながら、業務を行うことができていると感じています。

Q3 受験者に対するメッセージ

県の林業職は林務行政から森林土木事業まで広く林業の業務に携わることができる仕事だと思います。仕事のことについては、林業職の技術職員へ向けた研修もありますし、ベテランの先輩方が丁寧に仕事を教えてくださりますので、大丈夫です！
鹿児島県の林業の発展のために、私たちと一緒に頑張りましょう！！

給与や休暇の状況

給与・手当

給与

新卒は、行政職給料表1級25号級が適用されます。（令和3年4月現在）

また、既卒者で職歴経験がある場合は、給与の加算措置があります。

【1級25号級 182,700円】

諸手当

職員の家族状況、勤務状況などに応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、特地勤務手当（離島などに勤務する場合の手当）、超過勤務手当などが支給されます。

期末・勤勉手当

いわゆるボーナスに相当する手当で、下記の割合で支給されます。令和3年4月現在

6月期	12月期	計
2.225月分	2.225月分	4.45月分

勤務時間・休暇

勤務時間

原則として午前8時30分から午後5時15分までです。

勤務形態

週休2日制

（原則として毎週土曜日・日曜日は休日）

※ 勤務公署によっては、勤務時間・勤務形態が異なります。

休暇制度

※ 年次有給休暇（年20日）

【4月採用の新規採用職員は15日】

【残日数は、繰越制度もあります。】

結婚休暇（連続7日間の範囲内の期間）

看護休暇

介護休暇など

ワーク・ライフ・バランス

女性の登用

「女性活躍推進法」に基づき、女性活躍の観点から、女性の採用・登用の拡大や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に積極的に取り組んでいます。

仕事と子育ての両立

仕事と生活の調和を考慮し、育児、介護、家事などの家庭生活と仕事を両立できるよう、また、職員が子育てや介護、社会活動などに参加しやすい職場づくりに取り組んでいます。

- ※ 産前産後休暇、出産補助休暇、育児参加休暇、育児休業、育児休業、部分休業、育児短時間勤務、看護休暇など

研修

職員研修

新規採用職員には、社会人としての第一歩や公務員倫理などの研修を行う「新規採用職員研修」があります。

また、新規採用職員のサポート体制として、直接指導者や新規採用職員アドバイザー制度もあります。

採用後には、職員各自の職務能力を開発するために自ら講座を選択する「チャレンジ研修」などの研修も行っています。

研修制度・派遣制度

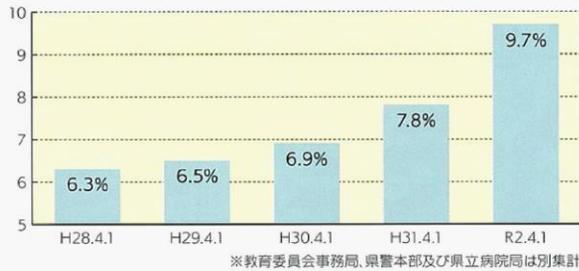
国や民間企業をはじめとする県庁外の機関等に職員を派遣し、日常の業務や庁内の内部研修で得られない経験を通じて、資質の向上を図ることを目的に実施しています。

- ※ 国（環境省、林野庁等）他自治体 など

女性の登用

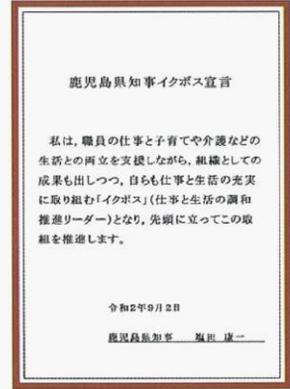
鹿児島県では、女性の職業生活における活躍を推進する「女性活躍推進法」に基づき、女性活躍の観点から、女性の採用・登用の拡大や仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に積極的に取り組んでいます。

管理的地位にある職員の女性割合



イクボス宣言

知事が令和2年9月に「イクボス宣言」を行っています。職員の仕事と子育てや介護などの生活との両立を支援しながら、組織としての成果も出しつつ、自らも仕事と生活の充実に取り組む「イクボス」（仕事と生活の調和推進リーダー）となり、先頭に立ってこの取組みを推進しています。



令和3年度実施試験について

	大学卒業程度 (行政「特別枠」)	大学卒業程度
年齢要件 ※令和4年3月末現在	22～25歳	22～29歳 (保健師は21～29歳)
試験区分	行政	行政、警察事務、心理、農業、畜産、農業土木、林業、水産、土木、建築、電気、化学Ⅰ、化学Ⅱ、栄養士、保健師
試験案内配布開始	3月1日㊦	3月26日㊦
受験申込受付期間	3月8日㊦～24日㊦	5月6日㊦～21日㊦
第1次試験日 (試験地) 合格発表日	4月18日㊦ (鹿児島市、東京都) 5月20日㊦	6月20日㊦ (鹿児島市、東京都) 6月29日㊦
第2次試験日 (試験地) 合格発表日	5月21日㊦～6月7日㊦ (鹿児島市) 6月下旬	7月13日㊦～7月29日㊦ (鹿児島市) 8月中旬

	民間企業等 職務経験者対象 ※1次試験は例年8月	短大卒業程度 高校卒業程度 ※1次試験は例年9月	氷河期世代対象 ※昨年度1次試験は9月	障害者対象 ※1次試験は例年10月
受験資格・日程等	令和3年3月中旬以降にホームページ等でお知らせします。			

※上記内容は令和3年2月時点の予定ですので変更する場合があります。詳細は各試験案内で御確認ください。



【豆知識】

試験には
どんな問題が出るの？

教養試験及び専門試験については、出題分野を試験案内及びホームページに掲載しています。また、第1次試験の試験問題例・論文試験の課題、過去の第2次試験の課題は、ホームページで公表していますのでチェックしてみてください。

試験案内・受験申込書の入手方法

インターネット

各試験の試験案内の配布期間中に県のホームページから試験案内・受験申込書・エントリーシートの様式をダウンロードすることができます。

直接入手する

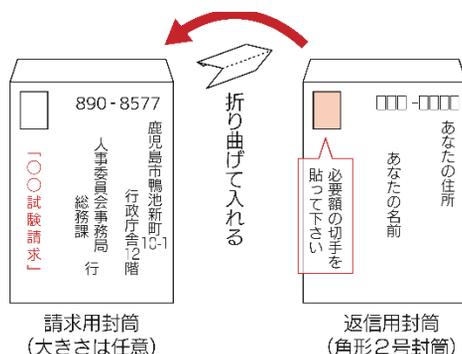
〈主な配布場所〉

- 県内
 - 鹿児島県人事委員会事務局
 - 鹿児島県庁行政庁舎1F受付前
 - 地域振興局(鹿児島、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅)
 - 支庁(熊本、大島)
 - 保健所(伊集院、指宿、出水、始良、大口、志布志)
- 県外
 - 鹿児島県東京事務所
 - 鹿児島県大阪事務所
 - 鹿児島県福岡事務所

郵送で請求する

※必要切手額(1部請求の場合)
140円

封筒の表に受験希望の試験名を書いて、必要額の切手を貼った宛先明記の返信用封筒【角形2号封筒(A4版)】を同封して請求してください。



受験申込方法

インターネットで電子申請する

※インターネットによる申込みが可能な環境にある方は、原則としてインターネットで申し込んでください。

鹿児島県のホームページから電子申請のページ(鹿児島e[いー]申請)にアクセスして電子申請で申し込む。

郵送または持参する

各試験の試験案内に記載されている申込先に郵送または持参で申し込む。
※申込方法を電子申請に限る場合もありますので、詳細は各試験案内をご覧ください。

▶ Twitter・Facebookで情報発信中!!

鹿児島県人事委員会事務局では、Twitter・Facebookを利用して職員採用試験に特化した情報を発信しています。試験に関する様々な情報だけでなく、説明会・セミナー等のお知らせや県の所属紹介等も行っていますので、是非ご覧ください!



Twitter

https://twitter.com/Kagoshima_saiyo



Facebook

<https://www.facebook.com/shokuisaiyo.kagoshima>



▶ 県職員をもっと知りたいなら!

「お仕事ガイダンス」や「技術職現場見学会」を企画していますので参加してくださいね。

※写真は令和元年度の「お仕事ガイダンス」(左)・「技術職現場見学会」(右)の様子



▶ 試験についてのお問合せは

鹿児島県人事委員会事務局 総務課任用係 TEL(099)286-3893・3894
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 県庁行政庁舎12階
鹿児島県職員採用ホームページ <https://saiyo.pref.kagoshima.jp/>



鹿児島県職員採用

検索

ホームページも
のぞいてみてね!

